

紙で包んで最適に保護

製品発表
PAPERwrap

Storopack、従来のエアクッションフィルムに代わる環境配慮型包装材「PAPERwrap」を発売

Metzingen、2026年6月。 Storopackはこの程、従来のポリエチレン製エアクッションやフォームフィルムに代わる、もう一つの持続可能な選択肢を製品ラインナップに加えました。PAPERwrapは、再生可能な原料である紙のみで構成されており、完全にリサイクル可能です。PAPERwrapは取り扱いが簡単で、小型で壊れやすい製品の包装や緩衝材、また特にデリケートな製品の表面保護に最適です。輸送中も商品は衝撃・擦り傷・損傷から確実に保護されます。この程、Storopackは、PAPERwrapの提供を世界中のカスタマーに向けて、開始しました。

フレキシブルで使いやすい設計

この保護梱包材は、最適な製品保護と資源の有効活用を実現するために、1層または2層の紙パッドから選択できます。パンチャー加工されたクラフト紙の3Dハニカム構造が最適なクッション性を発揮し、内側の薄紙は特にデリケートな表面の保護に適しています。例えば、ステンレスやアルミニウムの表面、ガラスを擦り傷やその他の損傷から守ることができます。衝撃に強い製品の場合は、ハニカム紙のみを使用することも可能です。紙は、ブラウンとホワイトの2種類から選べます。コンパクトなマシンは、ボタンひとつですぐに稼働し、パック作業場に簡単に設置できるほか、壁掛けとしても利用可能です。必要に応じて2種類の紙を同時に送り出し、簡単かつ効率的、しかも最大で毎分30メートルの速度で素早く包装作業を行うことができます。内蔵の手動裁断システムによって、包装終了後、紙を簡単に切断できます。紙はロール状で供給され、実際の体積はマシンによる加工時に発生するため、PAPERwrapは非常に省スペースなソリューションでもあります。

PAPERwrapは輸送中に製品を最適に保護するだけでなく、持続可能な包装によってエンドユーザーにとっても好印象な開封体験を提供します。



パンチャー加工されたクラフト紙の3Dハニカム構造が、最適なクッション性を発揮し、内側のシルクペーパーは、ステンレスやガラスなどの特にデリケートな表面の保護に適しています。写真: **Storopack**



PAPERwrapは、商品の包装に最適で、輸送用カートン内でも信頼性の高い製品保護を提供します。写真: **Storopack**

Storopackによるプレスリリースと印刷可能な画像はwww.storopack.comおよびwww.cc-stuttgart.de/presseportalにも掲載されています。引用元を明記することで、無償で転載することを許可します。

Storopackの概要

1874年に製革業を営んでいたJohannes Reicheneckerにより創業。1959年にはメッツィンゲン（ドイツ）を拠点に置くStoropack Hans Reichenecker社として法人化し、以降、保護包装の分野に特化しているグローバル企業です。受注生産により、多様な業種のお客様のニーズに応えた保護梱包を提供しています。自社の生産拠点と支店をヨーロッパ、北米、南米、アジア、オーストラリアに展開しており、全世界で2400名の従業員・スタッフを擁し、2024年



には5億7300万ユーロの売り上げを達成しました。製品は60か国以上で入手可能です。詳細はホームページ (www.storopack.com) をご覧ください。

お問い合わせ先：

Leonie Schulz
Storopack Hans Reichenecker GmbH
Untere Rietstr. 30
72555 Metzingen
Tel.: +49 7123 164-0
leonie.schulz@storopack.com